

会議録

会議の名称	西東京市公民館運営審議会平成18年度第8回定例会
開催日時	平成18年11月15日（水曜日）18時30分から20時45分まで
開催場所	田無公民館 第2学習室
出席者	会長：森忠 副会長：濱崎昌子 委員：細井邦夫、浅倉隆壽、柳澤英之、下栗庸隆、富澤佳代子、野間春二、武田雅子、石橋いづみ、紺野和子、遠山久敬 職員：相原館長、近藤事業係長、伊佐分館長、山本分館長、玉木分館長、香坂分館長、小林分館長、藤森公民館主事
欠席者	委員：伊波真貴子、奥田泰弘
議題	(1) 第7回定例会の記録について (2) 報告事項 1. 行政報告 2. 事業計画・報告書について 3. 公民館だより編集室報告 4. 第44回東京都公民館研究大会について (3) 協議事項 1. 諮問事項について (4) 事務連絡および情報交換 (5) 次回の日程について
会議資料の名称	(1) 事業計画書 1. 迎春のアレンジメント プリザーブドフラワーを使って（保谷） 2. 中高年対象講座「団塊ユメ追い塾」 若き日の夢を求めて（田無） 3. おりがみdeクリスマス（田無） 4. 教育講座「触って知る縄文の魅力」（芝久保） 5. 青年のための初心者編み物講座（谷戸） 6. 西東京の財政状況を調べよう（住吉） (2) 事業報告書 1. 親子対象・子供対象「夏休み陶芸教室」（保谷） 2. 健康講座「メタボリックシンドローム」（保谷） 3. 初心者のための陶芸教室（芝久保） 4. 雑学教室「放浪記1300回出演」鈴木雅さんを迎えて（芝久保） 5. マックス・ヴェーバー「職業人としての政治」を読む（谷戸） 6. 哲学の広場（第3回・4回）（谷戸） 7. 衣類・ハギレを楽しくリフォーム（住吉） 8. 子供いろいろ体験教室「プラ板とべっこうあめを作ろう」（住吉） 9. 子供いろいろ体験教室「動物昆虫生態観察ツアー」（住吉） 10. 心のメッセージ「絵手紙」（ひばり）

記録方法	☐ 全文記録 ☐ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☒ 会議内容の要点記録
会議内容	
(1) 第7回定例会の記録について ※記録について確認 (2) 報告事項 1. 行政報告 ○館長： 11月13日から第4回定例市議会が始まった。公民館に対する一般質問、関連の陳情等 は出ていない。 2. 事業計画・報告書について ○会長： 事業計画書について意見を聞く。 ○委員： 実施報告に曜日や回数を入れて欲しい。谷戸のマックス・ヴェーバーの講座などは、 何回開催したのか良くわからない。 ○委員： 回数とともに、毎回の出席人数がわかった方が良いと思う。提出様式の不徹底なども 注意して欲しい。 ○職員： ご指摘の点は了解した。職員会議で伝えていきたいが、年間通して行う活動などは、 すべての日にちを書くことが煩瑣になる場合もあり、ケースバイケースで考えさせて欲 しい。 ○委員： 住吉公の動物昆虫生態観察ツアーの評価欄に、土曜日よりも日曜日に設定した方が良 いという記載がある。今回のみのことなのか、過去の振返りと考えてよいのか。 ○職員： 過去の経験や子供たちのアンケートにも、日曜日が参加しやすいという声があがって いる。 ○委員： こうしたことは、全館共通のデータとして生かして欲しい。 谷戸公の哲学講座の報告についてだが、この講座の提案説明を受けたときに、委員か ら「不良はなぜかっこいいのか」というテーマ設定に対して異論が出ていた。しかし、 その後の公民館だよりも東興通信にもそのままのタイトルで掲載されていた。もしそ のままでいくというのであれば、この会議で説明があっても良かったのではないかと、そ	

うでないと、この場での審議の内容がどう生かされているのかがわからないことになると思う。

○委員：

ここでの審議の内容を公民館だよりの掲載に生かすのであれば、タイミングの問題があると思う。「不良はなぜかっこいいのか」についても、審議の後に掲載したのであれば、編集会議で議論されるべきだと思う。

○館長：

多くの人に目の触れる公民館だよりだということを意識して、タイトルも含めて考えていきたい。

○職員：

今回のことと言えば、そもそも編集会議以前に実施計画書が出ていたかどうかということが問題だと思う。前からの指摘でもあり、もっと早く計画書が提出されるよう努力したい。

○委員：

今回の表現について言えば、担当する講師の思いはあるとは思う。しかし、私を含めて受け入れられない表現もあるということを理解して欲しい。こうした意見に対しての経過報告を説明して欲しい。そうでないと、せっかく発言をしてもどうなのかと思う。

○館長：

問題点の指摘に関しては、的確に答えられるよう、説明責任について指導していきたい。

○会長：

確かに、今回の意見が出た時点では既にだよりの原稿もできており、間に合わなかったということも原因にあると思うが、この次は、この経験を生かして、事務局内で十分議論をしておいて欲しい。

○館長：

問題意識を持って職務に当たるよう、徹底していきたい。

○委員：

谷戸公の編み物教室だが、青年対象と書かれているが、どの程度の年齢の人を対象にしているのか。また初心者対象か。

○職員：

若者対象と銘打っているが、実際には幅広く受け入れたいと思っている。

○委員：

それであれば、単に初心者教室でよいのではないか。申し込む人も、年齢を制限した

方がわかりやすいと思う。青年とはいくつでも良いのか。

○職員：

実施報告のときには、年齢を示して報告したい。

○委員：

手元にだよりの校正ゲラがあるが、募集要領には青年男・女と記載されている。

○委員：

今のように、編集委員の人は校正ゲラ等で確認ができるが、今回もそうだが、既にだよりに掲載されており、何か意見を言ったところでもう校正も不可能なことが何度もあった。これでは、意見を聞いても仕方がないのではないか。何のための運営審議会なのかわからない。注意して欲しい。

○会長：

私も編集委員として編集会議に出席していたことがある。仕事が大変なのは理解するが、その方法を変更する。編集側も従来の方法を考え直してみることが必要だと思う。

○館長：

だよりの編集会議は月1回行われるが、その後の変更・校正は、事務局主導で行っているのが実態だ。もっと早く記事の原稿が出ていれば、ご指摘のようなことはなくなるのだと思う。

○委員：

今日は11月15日で、この会議に提出される企画書の内容が、11月7日の編集会議に話し合われるときに先に出てしまっているのはどうしてなのか。そこが問題だと思う。

○館長：

企画書を提出する時期が問題なので、もっと早く出すよう指導したい。

○委員：

いろいろと矛盾が出ているようなので、要望する。企画書は、記事にする1ヶ月以上前に提出することを前提にして欲しい。その上で、委員の意見があったときの修正等については、事後に報告するようにして欲しい。また、提出書類の書式は統一して欲しい。

田無公民館の事業について確認したい。折り紙deクリスマスの参加費や講師謝礼は必要ないのか。

○職員：

ロビーの装飾を市民が行うというもので、保育サークルの保護者たちが自主的に参加してくれることになっている。講師もボランティアで引き受けてくれているので無償だ。装飾後のロビーを見に来ていただきたい。

3. 公民館だより編集室報告

○委員：

10月7日に編集会議を開催した。

11月号の反省。コラムの休止に伴い、1面が全面使えることになり、芝久保公民館まわりの記事は、余裕を持って掲載することができたい。芝久保公のヨガ講習会については、定員を上回る申し込みがあったそうだ。ひばりが丘公のIT講習会の参加費の「ほか」の表記は、今後は具体的に表示するようにしたい。

12月号の1面は、山田病院のコンサート、サークル訪問は「武蔵野句会」になる。

○会長：

質疑はないか。

4. 第44回東京都公民館研究大会について

○職員：

資料配付したが、集合時間と持ち物について確認しておいて欲しい。

○会長：

暫時休憩する。

(19時10分休憩)

(19時20分再開)

(3) 協議事項

1. 諮問事項について

○副会長：

前回に引き続き、グループ討議をお願いする。8時15分には、この席に戻っていただきたい。

○会長：

今日の審議では、できる限り資料に目を通して、最終的には答申文を作るということを意識して議論をして欲しい。

○委員：

職員の勤務体制についても議論しないといけないと思っている。職員の勤務時間について調べて欲しいが、そのことは可能か。具体的に書きたいと思っているので、調べる必要があると思う。

○委員：

勤務体制の情報をとることはできるか。

○館長：

全国的なものは無理だと思うが、26市の状況を調べるということは良くあることだと

思う。職員の弾力勤務については、問題点を調べる必要は感じている。ただし、各市の勤務状況を調べても、単純に本市と比較はできないと思うので、検討させて欲しい。

○副会長：
グループに分かれて欲しい。

(19時28分グループ討議開始)
(20時28分全体会議再開)

○副会長：
本日の様子は、次回に報告して欲しい。本日は、この程度にしたい。

(4) 事務連絡および情報交換

○館長：
社会教育委員の会議から申し出があった。あちらは現在「西東京市の社会教育施設のあり方」について答申作りをしており、公運審委員との懇談会をしたいということである。12月中旬に予定をつけてほしいということだが、急なことなので、参加可能な委員だけでもよいということである。こちらの都合に合わせたいということなので、可能であれば日程調整をして欲しい。

○副会長：
懇談会の申し出があるようだが、いかがするか。

○委員：
社会教育委員も答申作りのために各地のコミセンなどを中心に施設を視察していると聞いている。おそらく公民館のことがわからないということで懇談を求めているのではないかと思う。
公民館の必要性や利用者としての声をわかってもらうためには、ぜひ懇談会を持つ必要はあると思う。

○副会長：
賛成の意見があるが、ご異議ないか。
(「異議なし」と呼ぶ者あり)
全員賛成なので、日程調整をしたい。
調整の結果、12月13日の18時30分から行うことにしたい。場所は、事務局が確保して、後日連絡して欲しい。

(5) 次回の日程について
12月20日(水曜日) 18時30分
於:田無公民館 第2学習室